

会 議 録

会議名	平成 24 年度第 8 回小金井市学童保育所運営協議会	
事務局 (担当課)	児童青少年課	
開催日時	平成 25年1月24日(火) 19 時 07分～21 時 15 分	
開催場所	802 会議室	
出席者	委員	高橋委員長、中山(岳)副委員長、水谷委員、原島委員、齋藤委員、曾我委員、深澤委員、小澤委員、仙澤委員、中山(恵)委員、鈴木委員
	事務局	越学童保育係長
会議次第	1 開会 2 議題 (1) 小金井市学童保育所運営について (2)その他 3 閉会	
配布資料	・第 7 回小金井市学童保育所運営協議会会議録(案) ・あかね学童保育所建替工事概要	
会議結果	1 会議録の確認 ・内容確認し、一言追加の上、内容確定。 2 議題 (1) あかね学童保育所建替工事概要について ・平成 2 5 年度予算として、あかね学童保育所建替工事を 129, 150 千円で計上。建物概要は、現在の場所に木造平屋建てを予定している。詳細は配布資料に記載のとおりである。 ・建替後、あかねは 3 所運営となるのか。(学) ・1 クラスあたり 4 0 人定員とし、3 クラスで 1 2 0 人定員とする。平成 2 6 年度から新定員としたい。(市) ・育成室 2 と 3 の仕切りはどんなものか。(学) ・可動式のもので、開けると一つの部屋になる。(市) ・建替期間中はどこで保育するのか。(学) ・小金井第三小学校の教室を使わせていただくことで学校側と協議中である。(市) ・建替工事はどのようなスケジュールになるのか。3 月末の完成だと、3 年生が新しい建物で過ごせなかったという他学童での経緯があるので、出来る限り 2 月中の完成が望ましい。(学) ・第三小学校の教室改修工事を一学期に行い、改修後、夏休み頃からお借りしたい。引越し後、現施設の解体を始め、完成は 2 月末を予定している	

が、工事の進捗状況にもよる。(市)

(2) 職員の採用について

- ・正規職員の募集が出ているが、現状はどうなっているのか。(学)
- ・平成25年3月に職員1人が定年退職する予定である。また平成24年12月に職員2人が普通退職した。平成25年度の職員体制は、定年退職者については再任用、他は正規職員2人を充てる予定である。学童保育指導員としては募集しないが、有資格者を配属する予定である。(市)
- ・現在の学童保育所の正規職員は、専門職か。(学)
- ・専門職であり、学童保育指導員として採用している。(市)
- ・理念にうたっているとおり、継続性のある保育ということを考えて、専門職を採用してほしい。(学)
- ・今回、指導員という形で採用試験をやらない。正規職員を配属するということをご理解いただきたい。(市)
- ・今回の採用方法は市としての方針か。(学)
- ・市としての方針である。(市)
- ・数年前に、一般職の方に指導員をしていただいたことがあるが、異動してしまい、現在は指導員としては現場にいない。そのような採用・配属には何か問題があるのではないか。(学)
- ・指導員で応募してきた人の方がモチベーションが高いという意見もあるが、OJTでしっかり指導してもらうように、ベテランの指導員に期待している。(市)
- ・来年、再来年あたりはうまく行くかもしれないが、数年後、ベテランの指導員がいなくなり、OJTで指導できる人がいなくなるのではないかと心配している。(学)
- ・来年度より先はどうなるのかわからないが、来年度の対応は、正規職員を配属するということである。今までと変わらない保育ができるように対応していきたい。今回の一般職の採用者の中に有資格者がいない場合には、他の手立てを検討する。(市)
- ・保育の継続性を考えたときに、不安が残る。(学)
- ・現場の指導員からも、専門職の指導員を入れて欲しいとの要望がある。今年度は時期的なものもありそうせざるを得ない。人事には、現場の意向と共に、運営協議会でも利用者から要望が出たという形で伝えておく。(市)

(3) 子ども・子育て関連3法について

- ・来年度以降の動きについて、市としてはどうなっていくのか。全国学童保育所連絡協議会での考え方では、子ども・子育て会議が重要であると捉

えている。小金井市としての計画は、どのように進んでいくのか。子ども・子育て会議の設置はどう考えているのか。(学)

・平成25年度においては、ニーズ調査の予算を組んでいる。国が示しているのは、25年から26年にかけて事業計画の策定である。ニーズ調査の内容については、25年度早々に国から方針が示される予定である。(市)

・「のびゆくこどもプラン小金井」は26年度で終了する。子ども関連の会議として児童福祉審議会と、「のびゆくこどもプラン小金井」推進市民会議があり、審議する内容も重複する部分が多いので、新たな会議の設置は考えていない。25年度は推進市民会議を拡大する形で、子ども子育て会議の内容も審議したいと考えている。(市)

・「のびゆくこどもプラン小金井」はなくなるのか？(学)

・「のびゆくこどもプラン小金井」は次世代育成推進法に基づくもので根拠となる法が違う。この協議会でも議論すべき課題であると考えている。「のびゆくこどもプラン小金井」推進市民会議の委員を追加し、拡大する方向での活用を考えており、予算を組んでいる。(市)

・どのくらいの回数の会議を予定しているのか。(学)

・今年度は、点検評価の議題で3回、子ども元気プランの議題で3回の計6回実施した。来年度も同じ程度、評価で3回、子ども子育て会議で3回と考えている。いずれにしても、国の方針がはっきりしてから進める。(市)

・推進市民会議と一本化するメリットは何か。(学)

・検討する項目がほとんど重複しており、審議内容の継続性ということや、26年度で終了するということから、一本化した方が良いと考える。(市)

・25年度から会議がスタートするという理解でよいのか。来年度以降も、学童保育所関係者から1人の委員を出すということか。

・その予定である。(市)

・子ども子育て会議には学童保育所、保育園などの働く親以外の意見も入れられるようにして工夫してほしい。(学)

・どうすればそのような立場の人の意見を聞けるのか、検討する。(市)

(4) ドッジボール大会について

・去年実施したマナー委員の活動については、今年も実施する方が良いか。(学)

・ぜひご協力お願いしたい。(市)

・昨年度、開始時間以降に来場した保護者の自転車置き場で問題があったが、今年はどう対応するのか。(学)

・学童保育所ごとに置く場所を指定するなど、改善していく。詳しく各学

童保育所より、おたよりなどで知らせる。(市)

・ビデオ撮影者などが観覧席の前の方に陣取り、観戦しにくいという声がある。観客の入れ替え等は考えないのか。(学)

・市としては、競技の運営で手いっぱい、観覧席がそのようになっていることも良く把握していないのが現状である。(市)

・譲り合うように学保連や各父母会から呼びかけるようにする。(学)

・来年度のドッジボール大会の日程については、教育委員会に通知済みである。(市)

(5) 障がい児の入所希望について

・障がいのある児童の入所について、希望する学童保育所での全員の入所を、ということが協議会の結論ということによいか。(市)

・可能な限り対応してもらっており、同様に考える。(学)

・定員を定める必要はないのか。(市)

・障がいのある子どもが増えるということは、職員の数も増える。おとなの数が多すぎる中での保育というのは不自然ではないか。希望者全員を受け入れることだけが最善とは思わない。判断できかねるので、もっと保育の現場のことをフィードバックしてほしい。現場で起きていることや、工夫していること等を情報共有したい。(学)

・受け入れ人数については、集団の様子によっても異なる。障がいのある子どもの割合が多くなることで、障がい児・健常児両者にとって、良い出会いの場・育ち合いの場でなくなるのではないかという心配もある。それを考えると、一定の定員を設ける必要もあるのではないかと思う。(市)

・兄弟が同じ学童保育所にいる場合など、定員を超えても対応して欲しいケースもあり、ケースバイケースではないか。(学)

・特別支援学級が各小学校に一つずつないという現状では、特定の学童保育所に希望が集中するという状況の中で、苦渋の選択をしているというのが現場の思いである。(市)

3 その他

(1) 発達支援センターについて

・障がいのある学童保育所卒所者への対応はどうなるのか。(学)

・放課後デイサービスと療育を行う。送迎は考えていない。福祉保健部障害福祉課(4月から自立生活支援課に名称変更予定)で相談を受け、支給決定した子どもを対象とし、1日の利用定員10人の範囲内で、週に何回通う、という形であり、学童保育のような毎日の保育ではない。(市)

(2) 来年度入所希望者数について

- ・入所希望者数がまとまったら、人数を教えてください。(学)
- ・集計中であり、確定したら知らせる。(市)

3 次回日程

- ・平成25年3月21日(木)19時から、801 会議室。